

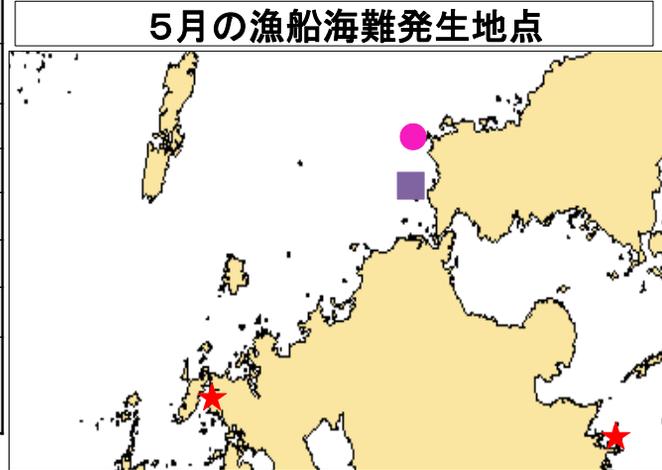
漁船海難月報

令和6年6月号 第七管区海上保安本部
第247号 交通部安全対策課 発行

令和6年5月発生
七管内漁船海難 計4隻

令和6年5月末現在 累計22隻(前年同28隻)
漁船海難発生隻数は前年に比べ**6隻減少**

漁船海難隻数 (速報値)			県別内訳	
			5月	令和6年累計
衝突	★	2	山口県 2	4(0)
			福岡県 0	0(4)
火災	●	1	佐賀県 0	0(1)
			長崎県 1	15(19)
運航不能 (推進器障害)	■	1	大分県 1	3(4)
合計 4隻(昨年3隻) 死亡、行方不明者: 1名			合計 4隻	22隻(28隻) (0は昨年同月)



累計死亡・行方不明者数 5名(令和6年5月末日現在)

人の集中力の限界は...

人の集中力は起床してから12~13時間立つと限界となり、その後、集中力は本人の体力や根性に関わらず、時間が経てば経つほど低下し、15時間後には飲酒運転時と同等の集中力になるそうです。

飲酒運転と同等の集中力しか残っていない状態で見張りをしても、頭がボーっとし、普段しないようなミスが多発するようになり、航行中、針路上の船を見落とす等、衝突や乗揚といった大事故につながる恐れがあります。

*参考:厚生労働省「健康づくりのための睡眠方針」

集中できなくなってきたと思ったら...

疲れてきた、頭がボーっとしだした、集中できなくなってきたと感じたら、無理をせず早めに作業を終わらせ、帰港するようにしましょう。

また、漁によっては、夜間や早朝に出港し、想定以上に長時間作業を行っている場合もあり、体力、精神力が必要になってくると思います。

長時間無理をして作業を続けてしまうと、操業中や帰港中に事故を起こして、自分や他人が怪我をしたり、最悪の場合亡くなる可能性もあります。

他人や自分の命を守るためにも、常時適切な見張りの徹底、無理はせず早めに作業を終わらせ、帰港するようにしましょう。

ただ、どうしても長時間の作業を行う必要がある場合は、作業の終わり時間を見越して起床時間を決定し、その時間に起きる等行い、なるべく起床してから12~15時間以内に作業を終わらせるようにしましょう。



6月の事故では...

今月起こった事故の中には、操船者が睡魔に襲われ、そのまま居眠りしたことにより船が乗り揚げた事故が起きました。今回は幸いにも亡くなった方はいませんでしたが、一歩間違えば大きな事故になる可能性があります。

